

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000096		
法人名	社会福祉法人 福壽会		
事業所名	グループホーム さくら		
所在地	佐賀県佐賀市諸富町諸富津209番地3		
自己評価作成日	平成26年2月17日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成26年3月26日	外部評価確定日	平成26年5月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の生活の中で笑顔が溢れ、利用者と職員が楽しく日常生活が送れる様な雰囲気作りを心掛けている。利用者のご希望・要望にいつでも応えられる様に、外出は勿論、家族の協力も得れる様に日々の状況の報告や相談を心掛けています。又、職員が利用者の想いに添ったケアに努められるように考え、ケアにあたる様に職員のスキルアップにも努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

筑紫川にかかる昇開橋近くにある鉄筋コンクリート3階建ての白亜の洋館が、グループホームさくらである。家庭的な落ち着いた雰囲気の中で、人生の最後のステージを過ごして欲しいとの願いが込められている。グループホームさくらの基本理念は、「共に笑い・共に喜び・共に歩む」とされており、個人個人の想いに寄り添い、自身を尊重することによる自立支援、そして地域との繋がりを大切にされている。グループホームさくらには、心穏やかにゆっくりとした時間が流れている。施設の食堂権談話室の窓からは筑後川と昇開橋の四季を眺めることが出来る。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F)	自己評価／ユニットB(2F)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法令に準じた、独自の運営理念を定めている。又、理念を職員と共に作り実践で活かせるように各フロアでの目標を定め支援に取り組んでいる。	同左	管理者と職員が一緒に考え、グループホームの基本に立ち返り理念を見直された。スタッフルームに掲示し朝礼時にはみんなで唱和し、再確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	母体施設と共同で、働きかけを行っている。この他、サクラ独自で地域の幼稚園と年2回・地域の方が慰問に来られたりと交流を図っている。	同左	地域の産業祭には手作りの作品を出展し参加している。幼稚園児との交流は今年インフルエンザ流行のため中止となった。地区の自治会には入っていない。	単発の行事や季節の催事などの関わりだけでなく、利用者が普段の暮らしの中で地域とつながるため、自治会に入り、地区の情報を得て、地域の人と協働する取り組みを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方の理解は少しずつではあるが高まっていると思う。	同左		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催しサービスの向上に努めている。	同左	事業所からの報告と共に参加者からの質問、意見、要望は真摯に受け止めサービス向上に繋げるための努力をされている。家族が多く参加されている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保健福祉課、おたっしや本舗諸富・蓮池と協力関係を築く様に取り組んでいる。	同左	地区の勉強会には積極的に参加している。入居の相談を受けることもある。会議などがないときでも、施設に立ち寄ってもらえる関係ができてる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について利用者様に与える精神的苦痛を考え、ご家族様と話し合い決めている。家族の希望にて身体拘束を行う場合は、同意を得る事・又身体拘束を廃止出来る様に職員・家族での話し合いもしている。	同左	年1回の勉強会だけでなく、機会を作っては身体拘束について話し、職員の共有認識を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待に至らないように、職員の勉強会や話し合いを行い、虐待防止に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F)	自己評価／ユニットB(2F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護・成年後見制度について研修や勉強会を行い、知識を深め気軽に相談して頂ける様に支援している。	同左		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退去時、契約書及び重要事項説明書の内容を、利用者及び家族に説明し同意を得ている。	同左		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が気軽に話しかけられる雰囲気作りを心掛けている。又、玄関に提案箱を設けている。	同左	玄関に提案箱を設置し、意見を出しやすいよう配慮している。面会時には、家族に声をかけ話しやすい雰囲気作りに留意している。出された意見は会議の時に話し合い、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	介護士会議や朝礼時等、職員の意見や提案を聞くようにしている。又、緊急時は随時話し合い意見交換を行っている。	同左	月1回の施設内の会議の時に意見交換を行っている。理念の検討も会議の中で行われた。会議の中で言いにくいことがあれば、個人的に聞く時間を設けている。手紙でやり取りすることもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員と意志の疎通を図り、働きやすい環境作りを心掛けている。	同左		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場外研修・職場内研修にも参加し、職員全体に周知出来る様にしている。	同左		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修・講演会等に参加し、他の施設との交流を持ち、サービスの向上に努めている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F)	自己評価／ユニットB(2F)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が何でも気軽に相談できるような雰囲気づくりを心掛けている。	同左		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が気軽に話しかけられる雰囲気作りを心掛けている。	同左		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	出来るだけ本人・家族の希望に耳を傾け、他のサービスも含め検討を行う。	同左		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の出来る事は出来るだけ手伝って貰い、お互いの暮らしを共にするもの同志の関係を築いている。	同左		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族が気軽に訪問できるような雰囲気作りを心掛け、家族と共に利用者を支援している。	同左		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・兄弟の面会の回数を増やして貰い、利用者の体調に合わせて、家族との外出の機会を持って貰う。	同左	馴染みの美容院へ出かける利用者、毎月先祖供養に出かける利用者が複数おられ、一人ひとりの生活習慣が尊重されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同志のが仲良く過ごせる場所を作り、お互い助け合える場所を提供している。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されても、利用者や家族に対しては、出来る限りの支援を行っている。	同左		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ本人の希望・要望に合った、その人らしい暮らしが出来る様に検討し支援を行っている。	同左	入所時の聞き取りや日々の関わりの中で把握に努めている。本人の気持ちを家族へ代弁することもある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前の生活歴を家族や本人より聞き、サービスに反映できるように努めている。	同左		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の能力に応じた環境を整え、出来るだけ職員は利用者の行動について口を出さず見守りを行う様に努めている。	同左		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の会話及び家族からの聞き取り等によりアセスメントを実施し、個別の介護計画を作成する。	同左	本人の意向は日々の関わりの中で把握したり、家族からの情報で感じ取り計画に反映している。計画作成者とスタッフが情報のやり取りをしながら作成評価している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメント表を作成し、ケース記録として日々の生活状況を記録し、職員間での情報を共有して、介護計画の見直しに活かしている。	同左		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じた支援を行っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	母体施設を中心に諸機関への働きかけを行い、周知を図っている。	同左		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望があれば、希望の医療機関への通院・受診が出来る様に支援を行う。	同左	主治医は本人や家族の希望に沿っている。受診や通院は、本人や家族の希望に応じて対応している。受信時の情報は、家族に電話や手紙で報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護の看護師と相談しながら日常の健康管理を行い、必要があれば受診を行う。	同左		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	常時、連携体制をとっている。	同左		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族・医師・看護師と相談しながら、利用者にとって最良の方法を話し合い支援を行っている。	同左	入居時に本人、家族の意向を確認している。協力医療機関や訪問看護との連携体制はある。職員の中に看護師が複数いる。終末期の支援に向けた勉強会もしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法・マニュアルを作成し、マニュアルに従い処置を行う様になっている。又、定期的に職員が集まり、全ての職員が緊急時の対応が出来る様に実践力を身につける様に努めている。	同左		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時のマニュアルに基づき職員に周知して貰っている。又、隣接する母体施設職員の協力体制も出来ている。	同左	非常災害時の対策として自動火災報知機、スプリンクラー、非常灯、誘導灯が設置されている。年2回火災を想定した訓練が行われている。緊急連絡網により職員への伝達体制も出来ている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F)	自己評価／ユニットB(2F)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の誇りやプライバシーに配慮した言葉掛けを行っている。	同左	本人の気持ちを大切に、年長者としての敬意を払い、さりげないケアを心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けにより本人の希望・要望を聞き対応している。又、選択の場面を作ったり本人の希望や意思決定が出来る様に努めている。	同左		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者に合わせた対応を心掛けており、生活を送る中で出来るだけ利用者の意向を尊重している。又、利用者一人一人のペースに合わせた支援を行っている。	同左		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	家族が持参された衣類の中で、本人の希望に添った支援を行っている。	同左		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の煩わしさから解放された環境で、ゆっくりくつろげる雰囲気を感じながら、板前により食事の提供を行っている。食器の片付けは利用者皆さんで分担し行って下さっている。	同左	献立は管理栄養士が作り、食材の調達には職員が行っている。旬の食材を使って、全て施設での手作りである。週に1回は麺の献立となっている。利用者の希望を聞き献立に反映させることもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量のチェックを行い、栄養状況を把握し、利用者一人一人に応じた支援を行っている。	同左		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の能力に応じた、口腔内ケアを行い、口腔内の清潔保持の支援を行っている。	同左		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F)	自己評価／ユニットB(2F)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別による排泄支援を行っている。	同左		トイレで排泄ができるよう支援されている。布の感触を大事にしたいと考え、日中は、リハビリパンツで過ごしてもらっている。高齢者に多い便秘についても、主治医と相談しながら対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の配慮は勿論、自力での排便が困難時は、オリゴ糖を使用したり、下剤の調整・適度な運動などで排泄を促している。	同左			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来るだけ本人の希望・体調に合わせた支援を行っている。	同左		入浴は、冬季は週2回、夏季は3回、時間も設定しているが、希望があれば柔軟に対応している。車椅子対応の特殊浴槽や檜風呂などがある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動(散歩・ドライブ・娯楽・計算ドリル等)に力を入れ、夜間安心して眠れるように支援しています。	同左			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をバイタルチェック表に掲示し、医師の指示に従い服薬の支援を行っている。又、症状の変化の確認にも努めている。	同左			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	茶碗拭きや洗濯物干し・洗濯物量み・体操等を共に行う場面を作り、一緒に手伝って頂く。又、季節の行事等についても利用者に教えて貰い楽しい雰囲気作りの支援を行っている。	同左			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出は本人の体調を見ながら、出来るだけ意志を尊重し支援を行っている。又普段いけない場所に関しては家族や地域の協力を得ながら、出来るだけ本人の希望に添えるように支援を行っている。	同左		毎日散歩に出かけている。その時の雰囲気ですーぱー迄出かけることも多い。一人ひとりの楽しみに合わせ積極的に外出している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(3F) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2F) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力に応じた支援を行う。	同左		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が自由に通信できるように支援を行っている。	同左		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カウンター式の台所に隣接して共同の生活空間があり、談話室の装飾においても、穏やかに家庭的な雰囲気作りに心掛けている。	同左	整理整頓を心がけ、掃除は職員と利用者が一緒に行っている。フローアや廊下の飾りつけはみんなで一緒に作った作品を飾っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子やソファを設置し、利用者が個々にくつろぎ、お互いが親睦を深められるような空間作りを行っている。	同左		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時等に家族に本人の使い慣れた物品の持ち込みについて十分に説明を行い、居室の環境作りを行っている。	同左	ベットとタンスは、施設で準備している。ベットは、利用者の希望を聞きながら固定ベットや介護用ベットを使っている。使い慣れ物を持ち込んでもらい、心地よい環境作りを心がけている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手動センサー等自力で行えるようにしている。	同左		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない